

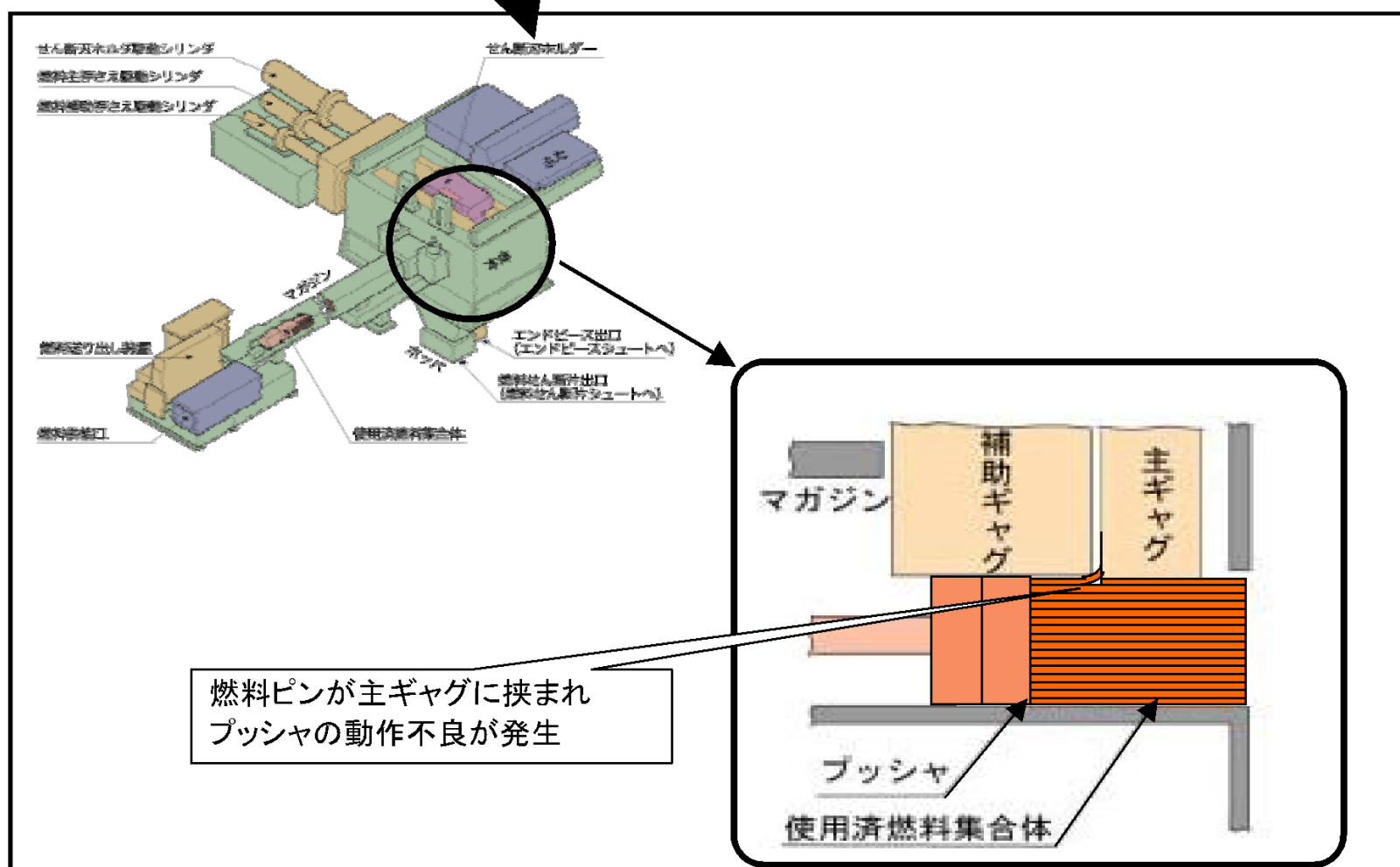
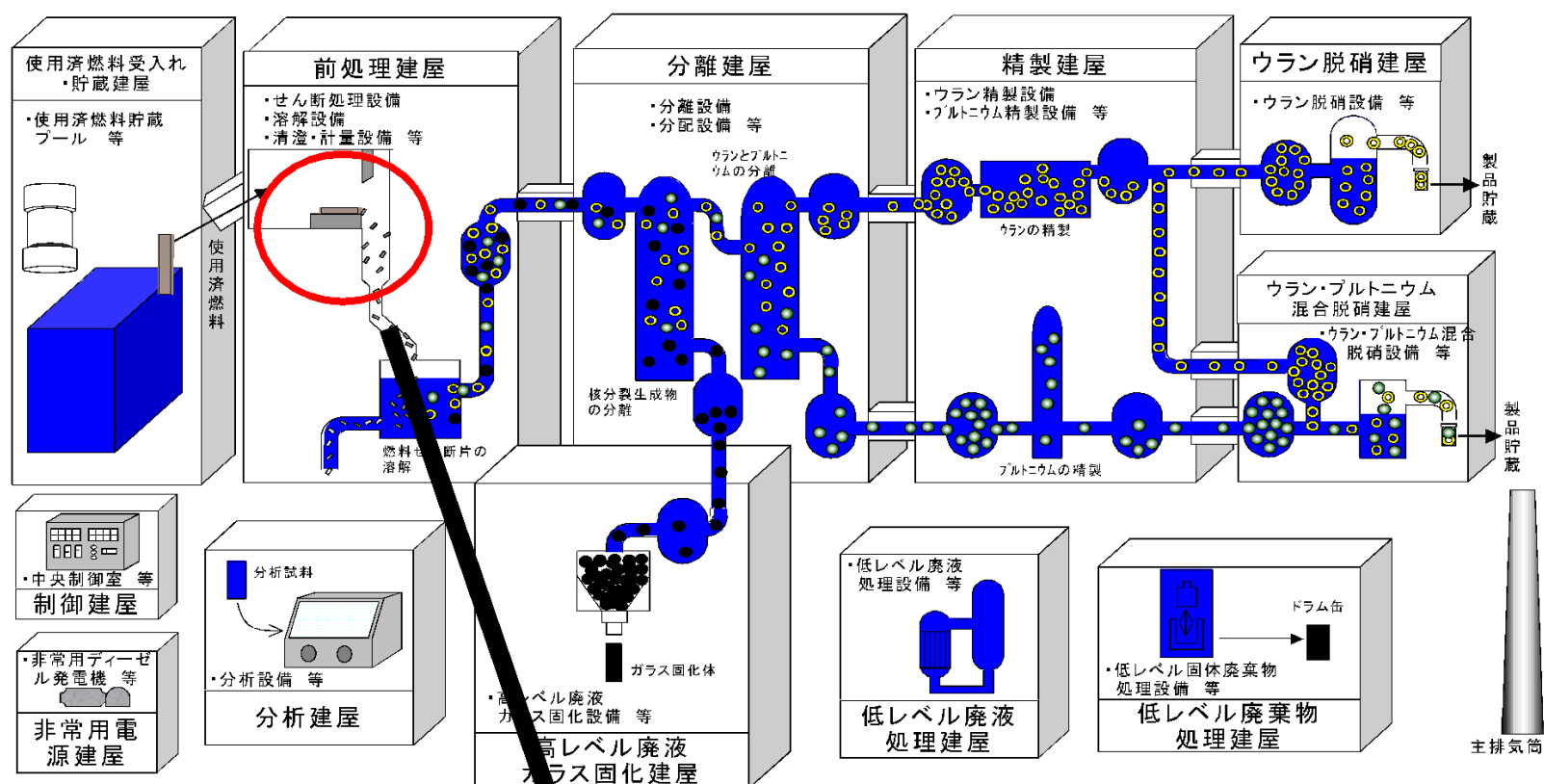
4. トラブルとその対応事例

4－1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別（C. 機器動作不良）

3-12. せん断機における燃料集合体の引っかかり																	
事象の概要																	
(1)発生場所：機器		前処理建屋：せん断機															
(2)設備の概要		使用済燃料を硝酸で溶解するために、燃料集合体を切断し、数 c m程度の小片にする装置。せん断刃により、燃料集合体を押し切る。															
(3)発生の状況		せん断機の運転中															
(4)概要		燃料集合体の燃料最終部分で燃料ピンが主ギャグ等に干渉する。															
(5)原因		運転を継続するなかで偶発的に発生する燃料ピンの引っかかり。															
事象による影響																	
(1)工場外への影響		工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する前処理建屋せん断処理・溶解廃ガス処理設備および前処理建屋換気設備が稼働しているセル内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質等の漏えいを伴うものではない。															
(2)安全性への影響		安全上の問題は生じない。 プッシャの動作トルク高によりせん断機が停止するため、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。															
(3)作業員への影響		作業員への影響は生じない。 プッシャの復旧作業は、セル外からの遠隔操作であり、作業員への影響は生じない。															
(4)他工程への影響		他工程への影響は生じない。 動作トルク高解除のため一時的にせん断を停止するが短時間であるため、他工程への影響は生じない。ただし、解除が長期化した場合、溶解槽以降の工程の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋に設置されている一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。															
対応の概要		1.定められた操作手順に従い、燃料ピンの干渉を取り除く。 2.定められた操作手順に従い運転を再開する。															
公表区分		毎月集約して月 1 回公表（ホームページへ掲載）															
連絡区分*		<table><tr><td colspan="3">トラブル情報</td><td colspan="3">運転情報</td></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>				トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報														
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等												

事象概要



復旧方法

定められた操作手順に従い復旧操作をして復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

運転を継続しながら復旧

